

栃木放送平成 22 年度第 8 回 12 月期定例番組審議会議事録

- 1.開催の日時 平成 22 年 12 月 14 日 (火) 午前 11 時
- 2.開催の場所 栃木放送本社会議室
- 3.委員の出席 委員総数 9 名
出席委員 8 名
欠席委員 1 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	副委員長	原 沢 佳 子
	委 員	鈴 木 正 好
	委 員	太 田 照 男
	委 員	宇賀神いづみ
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	田 村 澄 夫
	委 員	安 納 守 一
局側出席者氏名	代表取締役社長	栗 山 正 道
	常務取締役	山 口 純 一
	報道制作本部長	竹 澤 一 夫
	報道制作本部部長待遇	中 山 湖

4 議 題

- (1) 「再発見 両毛からこんにちは」について
- (2) その他

5 議事内容

- (1) 特別番組「再発見 両毛からこんにちは」について

試聴番組：平成 22 年 12 月 5 日 (日)

10：00～16：00 放送分から抜粋

議題説明：高瀬一也 報道制作局長

今回試聴して頂く番組は、足利市内にサテライトスタジオを設け、6 時間にわたり、各地からの中継やゲスト、ミニライブなどで構成したこと。両毛地区に密着した放送内容でより地域に根ざした番組作りと、営業活性化も併せてめざしている旨を説明し、審議に入った。

各委員からは、

○お店を広げたのは良いが、いろいろあって、どこにとりつこうか難しそうだった。つまらなくはないが聴かなくてはどうものでもない。

○中継先で食べるところの表現が、おいしそうだととてもよかった。

番組の抜粋のためか、再発見というタイトルと内容がいまひとつしっくりこない。長い番組なので、構成が大切だ。ただ、これまで、茨城からの放送などを聴いているが、今回は良かった。

○イメージがわく中継で良かった。番組の構成がわかるような、くぐりの紹介があるとわかりやすいと思う。

○6時間、全体の構成がわかるようにして欲しい。番組の目的は達成していると思う。

○特徴がでていて良かった。明るい気持ちにさせてくれる番組だ。

○再発見を伝えたいのか、新発見を伝えたいのか、制作者の意図がはっきりしない。タイトルは重要です。両毛というのに、足利・佐野だけでは不適切だ。

○両毛地区の人に栃木放送に対してどれだけ関心をもってもらうかも大きな目的だと思う。そこに住んでいる人たちに番組にでてもらい、自分たちの地域に親しんでもらうことはいいPRになる。

○地域の活性化に、こういう番組はどんどんやってもらいたい。元気のある場所・企業、衣・食・住・遊、県内各地で発展させて欲しい。地域経済のためにもなる。

○活性化のために、番組で“おいしい食べ物を育てる”という企画をやったらどうか。

などの意見が交わされた。

当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨説明した。

(2) その他

22年度第9回2月期の審議会開催日を、決めて閉会した。

以上